

たがじょう

市議会だより

新体制発足

第3回定例会結果報告

あんなこと、こんなこと議論の足跡

決算賛成・反対討論

一般質問

追跡レポート

多賀城小学校
(創立140周年大運動会)

No.85

平成25年(2013年)
11月1日発行

発行/多賀城市議会 編集/広報特別委員会

〒985-8531 宮城県多賀城市中央2-1-1 [電話 022-368-1141 FAX 022-368-1397]

復興を誓って、 市議会が動く！



副議長
金野次男



議長
板橋恵一

いよいよ

このたびの改選で議長、副議長に就任いたしました。もとより微力ではございますが、決意を新たにし、誠心誠意職務に努める所存です。

東日本大震災より2年半が経過し、復興に向けご努力をされている被災された方への支援は継続されなければなりません。防災・減災対策をはじめ、子育て支援、市街地整備等、本市には迅速に解決すべき課題が山積しております。市議会としてこれらの課題に積極的に取り組み、市民の皆さまの安心、安全で豊かな暮らしのために尽力してまいります。

今後とも市議会は、市民の皆さまの声を市政に届けるとともに、地域の課題と向き合い、皆さまと共に取り組み、信頼に応える議会としていく所存です。どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。

議長 板橋 恵一
副議長 金野 次男

議会運営委員会6人

議会の会期について審議するなど、議会全般の運営方法について協議します。

- 委員長 吉田 瑞生
- 副委員長 江口 正夫
- 委員 深谷 晃祐
- 委員 藤原 益栄
- 委員 根本 朝栄
- 委員 竹谷 英昭

- 監査委員 根本 朝栄
- 農業委員 伏谷 修一

組合等議会議員

- 宮城東部衛生処理組合議会 佐藤 恵子
- 塩釜地区消防事務組合議会 雨森 修一
- 塩釜地区環境組合議会 森 長一郎
- 宮城県後期高齢者医療広域連合議会 阿部 正幸
- 柳原 清
- 昌浦 泰巳
- 米澤 まき子

新体制発足で議会始動

各委員会等の構成メンバー決まる

9月10日の議会で、議長、副議長を指名推選により決めました。また、各組合等議会議員を選任しました。26日には、常任委員会委員と議会運営委員会委員の選任を行い、新体制がスタートしました。

まちの

市長が行う政策のうち、総合計画や財政、産業経済の振興、税金のこと、生活環境のことなどを調査し、市民代表の立場でチェックします。

◎委員長 ○副委員長

氏名	所属会派
◎藤原 益 栄	日本共産党
○伏谷 修 一	自由民主党
根本 朝 栄	公明党
森 長一郎	自由民主党
竹谷 英 昭	新世紀クラブ
板橋 恵 一	無会派



総務経済常任委員会 6人

委員一同、復旧・復興へ全力で

取り組んでまいります。

文教厚生常任委員会 6人

被災者の生活再建に直接関わる

委員会として頑張ります。

市長や教育委員会が行う政策のうち、小、中学校の教育、芸術文化の向上、健康や福祉の向上に関する仕事を調査し市民代表の立場からチェックします。

◎委員長 ○副委員長



氏名	所属会派
◎佐藤 恵 子	日本共産党
○呂 浦 泰 巳	市民クラブ
戸津川 晴 美	日本共産党
江口 正 夫	自由民主党
米 澤 まき子	自由民主党
阿部 正 幸	公明党

市長が行う政策のうち、水道の仕事や道路、公園、住宅、下水道等に関する仕事を調査したり、市民代表の立場からチェックします。

◎委員長 ○副委員長

氏名	所属会派
◎深谷 晃 祐	自由民主党
○吉田 瑞 生	自由民主党
柳原 清	日本共産党
金野 次 男	自由民主党
松村 敬 子	公明党
雨森 修 一	民政クラブ



建設水道常任委員会 6人

復興は、スピードと具体性！

動く常任委員会出動。

決算議会

24年度は復旧期の中間期

再生に向けて前進

着手率
84%!

9月10日から27日まで、18日間の会期中で第3回定例会を開催しました。今議会の焦点は、平成24年度決算の審査でした。市民の税金がどのように使われ、その結果どのような成果を生み出したか審査しました。その他、条例六件、補正予算案八件の審議等も行いました。

市議会が国に意見書を提出しました

- 地方税財源の充実確保を求める意見書
 - 森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書
- 意見書を国へ提出することを全会一致で可決

一般会計及び特別会計決算

単位：円

区分	歳入決算額	歳出決算額	差し引き額
一 般	40,890,046,335	39,205,244,047	1,684,802,288
災害公営住宅整備事業	966,314,744	945,931,744	20,383,000
国民健康保険	7,118,755,203	6,763,626,614	355,128,589
後期高齢者医療	430,828,136	426,321,591	4,506,545
介護保険	3,447,255,219	3,370,605,974	76,649,245
下水道	5,546,750,818	4,644,384,297	902,366,521
合計	58,399,950,455	55,356,114,267	3,043,836,188

水道事業会計決算

単位：円

区分	収入	支出	差し引き額
収益的収支	1,760,186,403	1,680,969,938	79,216,465
資本的収支	278,704,540	654,509,969	-375,805,429

財政状況

区分	24年度	23年度	備考
財政力指数	0.682	0.716	1.000に近いほど財政力がある
経常収支比率	112.9%	120.1%	80%を超えると財政の弾力性が失われる
公債費比率	13.0%	12.7%	10%を超さないのが望ましい

財政健全化判断比率（水道、下水道会計を除く）

実質赤字比率	—	—	基準	13.12%	黒字のため「-」表示
連結実績赤字比率	—	—		18.12%	黒字のため「-」表示
実質公債費比率	11.0%	9.5%		25.0%	
将来負担比率	—	16.1%		350.0%	黒字のため「-」表示

陳情

- 次の6件の陳情を議会に報告しました
- 多賀城市災害公営住宅建設に係る要望書
- 母（朱春菊）が中国で不法に逮捕されている件に関する要望
- 違法な臓器生体移植を禁じることを求める陳情書
- 武雄市図書館の民間会社による管理・運営に関する声明書
- 多賀城市水道事業に関する工事についての要望書
- 多賀城駅北地区第一種市街地再開発について

<イメージ写真>

さざんか家の 家計簿









平成24年度の普通会計決算を年収500万円の家計にしてみると…

収入

- **給料** (市税)
72万円 
- **親からの援助** (交付税・国庫支出金)
304万円 
- **ローン借入** (市債)
19万円 
- **パート収入** (負担金・使用料諸収入)
12万円
- **預金取り崩し** (基金繰入金)
16万円 
- **保険金** (震災復興特別支援金)
51万円 
- **その他** (寄付金・財産収入)
26万円

支出

- **食費** (人件費)
43万円 
- **医療費・教育費** (扶助費)
46万円 
- **生活費** (維持補修費・光熱水費)
125万円 
- **ローン返済** (公債費)
28万円 
- **子どもへの仕送り** (繰出金)
83万円 
- **貯金** (積立金・繰越金)
137万円
- **災害による大規模修繕** (災害復旧費)
13万円
- **その他** (投資及び出資金・貸付金)
5万円 

※平成24年度は、決算総額や内訳が例年と大幅に異なるため、前年度とは比較しておりません。

- 収入のうち、親からの援助（交付税・国庫支出金）が突出しているのは、震災による復旧のための国、県からの支出金や交付金等が増加したためです。
- 貯金（積立金・繰越金）の金額が大きいのは、主に次年度以降及び将来の復旧・復興事業に充てるための積み立てによるものです。
- 収入と支出の差額は、貯金（財政調整基金）や次年度の資金（繰越金）として、使用されます。

こと なこ



あし あと

と議論の足跡



議会では、市長の提出案件が市民の生活へどのように寄与するのか、ひとつひとつ質疑を通して審議を深め、採決に臨みます。

第3回定例会では、当局との間で主なものとして次のような質疑応答が行われました。

保育所の待機児童解消対策等について

あなごのこころと議論の足跡

質 待機児童解消対策は、
答 3歳児未満の待機児童解消策として、小規模保育、家庭的保育、家庭訪問型保育を検討していきます。

質 桜木の災害公営住宅内に併設される新桜木保育所の運営形態は、
答 幼保連携の認定こども園も視野に入れて、運営形態を検討しています。

質 被災者の保育料減免制度は、
本年も継続しますか。
答 本年も実施に向けて準備中です。



太陽の家での療育相談について

質 太陽の家管理運営事業で保護者に対する療育相談について

答 児童の進路・就学指導および保護者相談をおこなっています。

平成27年度から児童発達支援センターを開設し、更なる相談体制の充実をはかっています。

仮設住宅用地の整理について

質 仮設住宅の用途終了後における仮設住宅用地の復旧について

答 現在仮設住宅に使用されている多賀城公園野球場については、仮設住宅の用途終了後速やかに野球場に原形復旧する予定です。

なお、その財源については、仮設住宅の設置者である宮城県に求めるものの、場合によっては、震災復興基金の活用も併せて検討していきます。

仮設住宅について

質 仮設住宅退去時に入居者へのエアコン、ガスコンロ等の譲渡は、
答 エアコン、ガスコンロ等は、県の備品に準ずる位置づけで持ち出しは難しいとの県の見解が示されましたが、仮設住宅居住者から譲渡を望む声が多いため、被災自治体と連携して県に改めて要望しています。それを受けて、県では仮設住宅建物本体及び設備の再利用が検討されているところです。

質 災害公営住宅の建設に伴い、他の仮設住宅へ転居をする場合、移転費用は、
答 応急仮設住宅間の転居支援については、被災自治体が財政負担せず、転居支援を補助した新潟県中越大震災と同様の対応を行うように、被災自治体と連携のうえ、県に要望しています。

このコーナーに掲載しました質疑の内容は、実際の質疑のごく一部です。

詳しくお知りになりたい方は、お近くの市議会議員にお尋ねください。

第3回定例会の会議録は、12月上旬に、市立図書館、市役所の情報コーナーでご覧になることができます。

また、会議録は、インターネットでも、ご覧になることができます。

あんな こん

被災者の医療・介護自己負担分の減免について

質 4月1日から減免が廃止されましたが、県・国に対して要望していますか。

答 県には主管課長会の場で、国には県または市長会を通して、機会あるごとに、要望しております。

台風による道路の冠水について

質 9月15日、16日に発生した台風18号であちこちが冠水しました。原因は何ですか。

答 短時間での雨量で側溝がみきれなかったことと、一部の欠陥がありました。詳しく調査をして対応してまいります。

中央公園整備について

質 現在の進捗状況は。完成までに何年かかりますか。

答 事業ベースとして6割です。例えば、事業費を1億ずつ執行しても10年かかります。

災害用備蓄品について

質 災害用備蓄品の保存期限は。期限が切れた備蓄品の処分は。

答 食料品及び水の保存期限は5年、粉ミルクは1年半であり、保存期限切れ前に地区の防災訓練や学校の防災訓練で有効活用していただいております。学校給食に使用することについては、今後、学校側と検討していきます。

質 災害用備蓄品の備蓄状況と分散備蓄の状況は。

答 食料品等の備蓄は100%以上達成しています。大規模災害時指定避難所の学校、文化センター等に保管しています。津波避難ビルへの備蓄品の保管は、今後、協力企業と話し合っています。

万葉まつりについて

質 万葉まつりは、毎年同様の行列が行われていますが、新たな創意工夫をもとめられているのでは。

答 史都多賀城万葉まつりでは、中学生が古式ゆかしい衣装に身を包んで矢を射る「射礼（じやり）」や地元サッカー選手による「蹴鞠（けまり）」、同日実施される学院大学工学部祭とのコラボレーションなど、趣を凝らした催しを展開しています。



災害用備蓄品（多賀城二中に保管）



賛成・反対討論

反対

被災者支援の構え小さく
震災後32億円もため込み

日本共産党多賀城市議団 藤原 益栄

厳しい体制のなかで復旧復興に取り組みられたことに敬意を表します。他方、決算のなかで、菊地市政の問題も浮き彫りになりました。第一に、大震災以後の二年間で基金を32億5000万円も増やす一方、被災者支援への構えが非常に小さかったことです。一部損壊への住宅補修補助金もそうでしたが、宅地かさ上げ助成でも、議会が津波被災地全域を対象にと求めたにもかかわらず桜木の一部だけとし、一億円計上した予算はわずか700万円しか使われませんでした。第二に、24年度中に土地利用構想の見直しが行われました。一本柳地区は津波防災拠点と位置付けていますが、いつ来るかわからない津波のために、治水環境を悪化させるのは愚の骨頂であり、残った企業のために既存工場地帯整備に集中すべきです。山王地区の住宅予定地の縮小は、駅の重要性、被災後の住宅地需要増を見ないものです。第三に、平成22年度から24年度までの3年間に資金が7億8000万円不足するとして、半分は市でもち半分は国保税でと、23年度から15%の引き上げを行いました。しかし市長は資金不足は生じなかったとして、約束した繰り入れは全く行ないませんでした。これは議会と市民を欺くもので

す。第4に水道事業では資本費平準化債など使える資金を使っていません。多賀城の復旧復興に全力をあげ、立派になしとげ創建1300年を迎えましょう。



賛成

復興・新たなまちづくりへの 推進を評価

自由民主党多賀城市議団 江口 正夫

平成24年度は「多賀城市震災復興計画」の当初3年間の復旧期の中間であり、早期復旧・復興を最優先として、多くの復興事業に着手し具現化に向け推進されました。

一般会計決算は歳入で約408億9000万円、歳出で392億500万円となり、過去最大の規模となりました。将来の事業や緊急時の財源確保のための基金残高は約219億円で前年度に比べ、89%増となり、計画的に将来への対応が整えられていると評価します。結果として、復興計画の進捗率は着手率84%、完了率28%となり、概ね計画通りに進んでおり、加速化に向け一層の努力を期待します。災害公営住宅建設の進捗は、桜木地区が用地取得を終え、平成26年度完成に向け、順調に進んでいます。入居者に寄り添った住居環境の整備を期待します。下水道事業については、雨水施設の復旧は計画どおり進捗しましたが、昨今の局地的集中豪雨の抜本的対策として、全体計画見直し事業が早期に達成されることを期待します。一方、汚水施設の復旧は工事の特性等から進捗率が低く、市民生活にとって重要なインフラ整備として、早急な進展を期待します。

最後に、平成24年度決算は早期復興を最優先として、震災復興・災害復旧事業が、併せて未来に希望のある多賀城市の「まちづくり」の事業が推進され、再生・発展に向けて着実に前進している状況と評価し、今後の諸課題を指摘して賛成討論とします。

賛成・反対討論

賛成

観光産業の創出で復興を！

公明党多賀城市議団 松村 敬子

歳出決算規模は、震災前と比較すると約2倍の392億円、歳入は、震災復興交付金等で補てんされていますが、自主財源の市税が、昨年から大幅に減収していることが危惧されます。復旧事業では、破損した道路や橋梁の補修、公共施設の復旧、災害廃棄物の処理と他自治体より先んじて事業が推進され、被災者の生活再建と、安心安全なまちづくりのための不眠、不休で取り組む職員の皆様、敬意と感謝を表するものであります。震災関連の新規事業では、震災による生活環境の変化から健康状態の悪化を早期に発見し、予防するため新たに「被災者特別健診事業」を、また、自立再建支援として「宅地かさ上げ等補助事業」と「被災者住宅再建補助事業」を立ち上げました。「災害公営住宅整備事業」では、4か所の建設場所が決定し、桜木地区予定地では、土地の買収、設計が進みました。他の3か所においても、事業が加速する事を望みます。仙石線高架事業は、24年4月上下線ともに開通し、4か所の踏切が除去されました。新駅舎完成と駅北地区開発事業が、復興のはずみになることを期待します。自主財源の確保は、市民サービスの維持向上の根幹となるものであります。企業誘致を積極的に推進すると共に、産業振興策、とりわけ観光産業の育成を切に望むものであります。観光は幅広い産業に関連する視野の広い総合産業であり他産業への需要創出や雇用創出効果等の経済効果は大きく、21世紀のリーディング産業として期待が高まっており、県も積極的に取り組んでいます。観光産業の創出は地域活性化を図る大きな手段のひとつです。本市多賀城にも観光産業を創出することを願ひ、賛成の討論とします。



災害時避難対策等の実効性 向上について

自由民主党 江口 正夫

問 昨今、局地的集中豪雨が頻発し、各地で甚大な被害が発生しています。被害拡大の要因として、避難勧告等の遅れ、情報伝達の不備、勧告等にも住民が過信により避難しないこと等が指摘されています。①局地的集中豪雨の脅威にどのような認識を。②避難勧告等の発令基準に、気象警報及び降水量の数値基準を設定すべきでは。また、浸水想定区域図を整備すべきでは。③情報伝達者に区長、自主防災組織の長等を指定し、住民への情報伝達体制を整備すべきでは。④内水ハザードマップの作成・配布、啓発活動をすべきでは。

答 ①いつ発生してもおかしくない災害であり、短時間のうちに大きな被害が発生するものと認識しております。②降水量を基準とする避難基準は、現在定めておりませんが、1時間当たりの降水量が15mmを超えたときなど、防災緊急対策会議を開催し、状況の変化に応じて、対応してまいります。



集中豪雨被害 (平成25年8月9日岩手県栗石町役場駐車場)

また、集中豪雨により既に浸水している地域では、直ちに命を守る行動を取ることについての啓発も行ってまいります。③各行政区長、自主防災組織の長等と連絡体制を整備するとともに、住民の安全確保な避難体制が確保されるよう努めてまいります。④作成の予定はありませんが、防災講話等の啓発活動を計画してまいります。



1 市内中小業者への支援策雇用、人材確保 2 災害復興住宅建設、入居支援

日本共産党 佐藤 恵子

一問 被災事業者の多くが景気や販路の回復の遅れ等で従来の売り上げが確保できないなか、運転資金や新たな設備投資が必要となっています。①支援策として、マル経融資への利子補給制度等を創設することや中小企業振興資金の金利も引き下げること。②中小企業等グループ補助制度に商店街型の支援が拡充されました。仮設店舗や地元事業者の要望をよくつかみ、この制度を活用した街の再生事業に取り組むこと。③略

答 ①国や県の融資制度、本市独自の制度があり、現在のところ考えておりません。引き下げについても、県内全域で制度化しているため、本市単独での見直しは困難です。②本制度は様々な要件があることから、要件の緩和及び更なる拡充を国に求めてまいります。

二問 ①復興住宅入居場所については当事者と合意を図りながら早々に周知すること。②復興住宅建設に地元業者も参加させること。



③住宅入居促進のためにも敷金の免除と入居に際しての諸経費支援の具体化を急ぐこと。

答 ①できるだけ早い時期に正式な入居申込みを行い、入居する住宅をお示しできるよう取り組んでまいります。②引き続きUR都市機構と検討してまいります。③入居の際の支援については検討してまいります。

第 3 回 定 例



1 いじめ問題について 2 介護用品等購入時の支払い方法について

日本共産党 戸津川晴美

一問 ① いじめは、子どもが成長発達途上にあるため、どの時代、どの国でもありうるものですが、人権侵害や暴力を伴う深刻ないじめに発展させないため、教師による早期の気づきが重要です。しかし多忙を極める学校現場では困難を伴います。多忙解消のために、どのような施策を進めていますか。
② インターネットによるいじめで苦しんでいるお子さんがいます。どのような対策をとっていますか。

答 ① 教師の多忙化解消には、スクールソーシャルワーカー等を中心としたネットワークづくりを進めて、子どもたちの指導に当たるとともに、教師の側面的支援に努めているところです。また、50数名の支援員を各校に配置しております。

② 生徒に対する指導により、インターネットの書き込みは減少しています。今後とも指導を継続するとともに、削除の要望を出し続けていきたいと考えております。



二問 介護用品の購入にあたり、本市では利用者が一旦全額負担する方法をとっていますが、近隣市町村同様、当初から利用者1割負担で購入できる方法の導入を求めます。

答 来年4月1日からの実施に向けて、準備を進めているところであります。

一 般 質 問



1 災害公営住宅について 2 西部バス路線について

公明党 根本 朝栄

一問 ① 本市の災害公営住宅に、他市町で被災し多賀城に住民登録した方も入居できるよう建設戸数の増加を図ってはいかがですか。
② 新田地区の建設戸数48戸に対し78世帯の希望があるが、全員入居できる戸数の確保をしていただきたい。

答 ① 正式な入居申し込みの方法等について検討を行い、入居が可能か否か、模索してまいります。
② 他の地区でも建設予定数と入居希望数にギャップがあり、総体的に勘案して戸数を決定しますので、現段階では難しい見通しです。

二問 ① バス料金が200円に値上がりしましたが、短区間で負担が重いとの声に配慮100円に戻してはいかがですか。② 利便性向上のためヤマザワ・ホームマック前に再びバス停の設置を。③ 西部バスと同様のバスを東部バスに導入し、西部と東部が行き来できる一体的なバス路線の整備を。④ 親しまれるバス名称のため市民から公募を。



西部バス

答 ① 市民間の負担の公平性、持続可能な公共交通の観点から、料金設定をしております。② 1時間に1便程度の定時運行を確保するため、やむなく利用者が少ないバス停を廃止しました。③ 平成26年度中に開始できるよう検討しております。④ 市内バスの統一的な運行の開始に合わせて検討してまいります。



自由民主党 森 長一郎

1 更生保護について
2 東日本大震災復旧・復興について

一問 毎年、7月は「社会を明るくする運動」強調月間となっております。保護司、更生保護女性会、協力雇用主会等の更生保護活動を理解して頂く、良い機会となっております。各団体とも、様々な企画を立てていますが、事務局としての地域、学校への啓蒙の協力強化を願います。

答 区長会や社会福祉協議会、民生児童委員協議会をはじめ、市内の小・中・高等学校、防犯協会連合会など、様々な団体から、御協力と御理解をいただきながら、啓発活動を展開しています。今後も、地域、学校との連携をさらに強化しながら啓発に努め、支援してまいります。

二問 ①県道塩釜巨理線の高上げ工事が仙台市被災地では始まりました。同線の市内延伸部の差異対策を急いでください。②先頃、国の施設2ヶ所について一時避難所として協定を締結しました。多賀城高校グラウンド、そして校舎を

含め、一時避難所として加えてください。

答 ①県との連携を密にしつつ、復興庁とも調整を進めながら、取り組んでまいります。②今年の4月以降「災害時における多賀城高校の校庭利用に係る覚書」に関して協議を重ね、校庭を車両の一時避難場所、体育館等を住民等の一時避難場所として利用するため、覚書の締結に向けて事務を進めております。



社会を明るくする運動街頭キャンペーン (7月1日多賀城駅前)



市民クラブ 昌浦 泰巳

1 土曜授業について
2 小・中学校の学力向上策について

一問 本市は土曜授業実施を検討していますか。文科省は来年度、土曜授業を行う公立校へ補助をする方針を決めました。補助制度が新設された場合、この制度を本市は利用するのでしょうか。

答 今の時点では、平日同様全児童・生徒が土曜日に学校に通い、授業を行う形態での補助制度の利用は考えておりません。

二問 8月27日、全国学力テストの結果が公表されました。①本市児童の学力向上策はどのようなものでしょうか。②中学校での積み重ねの学問と言われる数学の学力向上策はどのようなものですか。③本市では小中一貫校での教育を検討していますか。④児童・生徒の学習支援のためのセンターを今の図書館へ設置すべきと考えますが、市教委はどう考えですか。

答 ①現在の中学生は、小学校時代に震災を経験してきた生徒であり、子どもたちの心のケアに意を配しながら、学習指導に努めてま



います。②少人数指導やティーム・ティーチングの工夫などで、個に合わせた指導を行うとともに、教職員の研修を通して小中学校の指導の関連付けや連結を工夫してまいりたいと考えております。③現在のところ考えておりません。④学校外の多様なことも支援の中で研究してまいります。



1 多賀城市立図書館について
2 高等学校等修学資金に伴う利子補給制度創設について

公明党 阿部 正幸

一問 多賀城市立図書館について
 ①多賀城市立図書館移転計画の内容について伺います。②駐車場スペースについて、どのように計画しているのか伺います。

答 ①新図書館は平成27年夏のオープンを目標として、多賀城駅北側に建設予定の再開発ビルに移転することとしております。新図書館の移転・開館に向けたスケジュール等についても、(仮)多賀城市立図書館移転計画として、来月には策定することとしております。②再開発区域内に駐車場を併設することは困難な状況です。利用者に御不便をお掛けしないためにも、近接地の旧長崎屋跡地の民間開発を企画検討している方やJRなどと協議しております。

二問 高等学校等修学資金に伴う利子補給制度創設について
 家庭の経済的負担の軽減と教育の機会均等の目的として金融機関の「教育向けローン」の高等学校等修学資金に伴う利子補給制度を創

設していただきたい。

答 公立高校授業料無償制度、高等学校等就学支援金制度、貸付、又は給付される各種奨学金制度が整備され、貸付条件の緩和や事情による特例措置の追加など、その内容も充実していることから、市独自の制度を作ることとは考えておりませんので、ご理解願います。



多賀城市立図書館

一般質問



1 学校週6日制・土曜授業について
2 子供の育成と行政区の関わりについて

自由民主党 伏谷 修一

問 ①文科省は、完全週5日制を見直し外部人材を活用して土曜日にも授業に取り組み公立校などへ補助制度を新設する方針を決め、自治体への財政支援を強めて全国的に普及を図るとありますが、今やるべきことは被災地の学校が抱える問題の解決が先決と考えます。本市の考えについて伺います。②地域に住む子供たちの健全な育成は誰もが願うことです。行政区内の子供は減少し活動も鈍化しているのが現状です。地域と家庭の連携は単位行政区では限界が来ている状況の改善を小学校区内で検討するなど、新たなコミュニケーションの構築を図るべきと考えますが。

答 ①今の時点では、平日同様に全児童・生徒が土曜日に学校に通い、授業を行う形態での補助制度の利用は考えておりません。②住民自治による地域づくりを進め、住民の発意により、地域の実情にあった活動を行うことができ

るよう、単一の行政区に留まらず、今よりも広域な単位でのコミュニケーションのあり方について検討しております。同時に子ども・子育て会議を設置し、地域のニーズや課題を反映させた支援計画策定などの取組を開始しております。地域の皆様とともに考え、お互い理解を深めながら検討を進めていきたいと考えております。



万葉まつりに参加する地域の子ども達



自由民主党 吉田 瑞生

新多賀城駅や駅前広場と駅周辺に記念碑、愛称命名、公衆トイレ、観光サインの設置を

問 ①松尾芭蕉と河合曾良二人の銅像と「おくのほそ道」・壺碑の一文を建立すること、また大伴家持・日下常由先生の顕彰、3.11東日本大震災慰霊碑の建立について伺います。②新駅舎・南北連絡通路の愛称を命名し表記することについて伺います。③駅前広場などに公衆トイレ（化粧室）の設置について伺います。④多賀城駅の南口と北口の広場に観光案内サインを設置し、モニメントの説明書きを書き入れることについて伺います。⑤北口駅前広場に接続する(ア)多賀城駅北線、(イ)史都中央道線（歩行者専用道路）を、平成27年度に供用開始するよう伺います。

置でできるよう検討してまいります。④観光サインを有効的に設置できるよう、関係部署と協議を進めてまいります。⑤土地区画整理事業区域内については、平成27年度末までに供用開始できるよう事業を進めてまいります。区域外については、できるだけ早い時期に供用開始できるよう努めてまいります。



多賀城駅北口完成予想イメージ

一問 前議会において同様の質問になりますが、「平成23年3月11日、東日本大震災の記録」が平成25年4月1日多賀城市にて発行されました。悪夢と思われる巨大地震と大津波、2万人を超す死者、行方不明者、多賀城市では死者188名の尊い犠牲者を出しました。また、永年にわたって築かれてきた多賀城、一瞬にして破壊された震災の恐怖と体験、この教訓を風化させてはなりません。市民が共有する貴重な資料、全家庭に配布を望みますが市長の見解を伺います。

答 写真や原稿の投稿者や震災直後から支援をいただいた関係機関等に配布しております。また既に多くの皆さんが図書館やホームページ上でこの記録誌を御覧になっていることから、全戸配布は行わないこととしておりますので、御理解願います。

二問 現在の図書館の駐車場は無料になっていますが、駅周辺の駐車場対策についての考えを伺います。

答 教育委員会としては、図書館利用者が駐車場を利用した際には、一定時間は無料にしたいと考えております。ただし、再開発ビルの駐車場の利用形態については、関係者との協議を踏まえた上で、具体的な考え方を示してまいりたいと考えております。



民政クラブ 雨森 修一

1 「大震災の記録誌」の各家庭に配布について
2 新図書館計画での駐車場について



1 塩竈市にある「けやき教室」について
2 留守家庭児童学級の現状及び今後について

自由民主党 米澤まき子

答 ①集団での活動が可能な場合には、一人ひとりの状態に応じた

画

② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿



塩竈市公民館本町分室内にあるけやき教室

指導方法や接し方を工夫して受け入れを行っています。②宮城県子ども総合センターなどが主催する研修に参加し、児童との関わり方など、必要な知識や技術を学んでおります。③本年11月に実施するニーズ調査の結果をもとに、事業計画を定めてまいります。

一般質問



土嚢ステーションの設置について

自由民主党 深谷 晃祐

問 土嚢ステーションとは、5kgと10kgの土嚢袋をあらかじめ設置する鉄製の籠に150袋程度入れておき、必要な時に住民の皆様が自由に取り出して自宅や周辺の冠水を防ぐ物です。この土嚢ステーションの設置により、住民が自らの防衛策を講じる自助の精神を繋いでいく役割も果たします。災害時の心得である自助を自立に促す為にも非常に有効的であると考えております。ちなみに、災害とはいつ来るかわかりませんので早急に対応して頂きたいと思っておりますがいかがでしょうか。

答 災害が発生し、又はその恐れがある場合には、消防団員及び非常配備職員が保管場所から車両に積載し、応急的な対応を行っております。

また、市民等から土嚢の要請があった場合には、直接市役所に来ていただき配布するとともに、災害時要援護者等に対しては、市職



土嚢ステーション (東京都板橋区)

員が配達し、対応しております。災害に備えた各家庭、企業等での土嚢の準備については、出前講座などを活用し、お願いしているところでもあります。

今後は、地域における自主的な防災・減災の取組に対し、行政として支援を行い、その結果、雨水対策として、各地域における土嚢ステーションの拡充が図られれば考えております。



日本共産党 柳原 清

1 TカードとCCCカルチュア・
コンビニエンス・クラブ株式
会社について
2 新図書館について

一問 ①新図書館にはTカードを
導入すべきでないと思いますが、
いかがですか。②当局はCCCを
高く評価しているようですがその
理由は何かですか。

答 ①新図書館に限らず公共施設
へのTカードの導入有無につきま
しては、現時点で具体的検討に至
っておりません。②代官山蔦屋書
店を訪問した際に、その取組に共
感し、ヒトと世の中をより楽しく
幸せにする環境づくり、いわゆる
カルチュア・インフラを創ってい
くという企業コンセプトに感銘を
受けたことです。

二問 ①万が一、商業施設から業
者が撤退した場合、利用価値の無
い建物になる懸念があります。新
図書館と商業施設は壁で明確に分
離すべきだと思えます。②直営で
なければ地域に根ざした特色を持
った図書館の継続的運営は困難で
す。図書館の運営は直営が望まし
いと思えますいかがですか。

答 ①再開発ビル内の空間設計や

デザイン設計等は、施設利用者の
利便性、市民サービスの更なる向
上という視点で、入居予定の民間
事業者と協議・調整を重ねてまい
りたいと考えております。②市民
サービスの更なる向上という視点
から、施設が提供するサービスレ
ベルを定め、教育委員会として最
も適切な手段を選択していきたい
と考えております。



多賀城市立図書館

各議員が出した結論は 第3回臨時会・第3回定例会表決結果一覧

◎第3回臨時会市長提出議案（平成25年8月7日開催）

- 1 和解について（2件）
- ◎第3回定例会市長提出議案
- 2 教育委員会委員（浅野憲隆氏）の任命につき議会の同意を求めることについて
- 3 固定資産評価委員会委員（高橋利夫氏）の選任につき議会の同意を求めることについて
- 4 多賀城市税条例の一部を改正する条例について
- 5 多賀城市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
- 6 多賀城市公民館条例の一部を改正する条例について
- 7 多賀城市保育所条例の一部を改正する条例について
- 8 多賀城市予防接種健康被害調査委員会条例の一部を改正する条例について
- 9 多賀城市自転車等駐車場条例の一部を改正する条例について
- 10 工事請負変更契約の締結について
- 11 平成24年度多賀城市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
- 12 平成24年度多賀城市一般会計決算及び各特別会計決算の認定について

- 13 平成24年度多賀城市水道事業会計決算の認定について
- 14 平成25年度多賀城市一般会計補正予算（第4号）
- 15 平成25年度多賀城市災害公営住宅整備事業特別会計補正予算（第1号）
- 16 平成25年度多賀城市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
- 17 平成25年度多賀城市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- 18 平成25年度多賀城市介護保険特別会計補正予算（第1号）
- 19 平成25年度多賀城市下水道事業特別会計補正予算（第4号）
- 20 平成25年度多賀城市水道事業会計補正予算（第3号）
- 21 監査委員の選任につき同意を求めることについて
- 22 工事請負契約の締結について
- 23 財産の取得について
- 24 平成25年度多賀城市一般会計補正予算（第5号）

◎第3回定例会議会提出議案

- 25 意見書（2件）

第三回臨時会第三回
定例会表決結果一覧

案件等の番号	自由民主党							日本共産党				公明党		民	市	新	無	審議結果	
	江口正夫	深谷晃祐	伏谷修一	米澤まぎ子	金野次男	森長一郎	吉田瑞生	柳原清	戸津川晴美	藤原益栄	佐藤恵子	松村敬子	阿部正幸	根本朝栄	雨森修一	昌浦泰己	竹谷英昭		板橋恵一
1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
12	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	認定
13	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	認定
14	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
19	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
20	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
21	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
22	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
23	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
24	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
25	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

議長は公正中立の立場から表決に加わりません

表示の説明 賛成は○ 反対は× 会派名 自由民主党=自由民主党多賀城市議団 日本共産党=日本共産党多賀城市議団
公明党=公明党多賀城市議団 民=民政クラブ 市=市民クラブ 新=新世紀クラブ 板橋議長は公正を期すため無会派になります。

私もひとごと

議会を傍聴したみなさんからの感想や意見です。



あの大震災から2年半経過したが復興事業は大幅に遅れ、近年は異常な局地的大災害も甚大である。市民全体で真剣な防災訓練や市民を護る町づくりのための危機管理意識の向上が必須であると思い、行政や町内会等における課題を独自調査した。「大震災の記録誌」には数多くの市民の感想が掲載されているが、大震災における数々の問題の実態を隠蔽することなく、改めて抜本的な猛省が欠かせない。さらに町内会や、市民自身においても、形骸化した防災訓練の全面見直しや防災マップの積極的な活用、家族単位での防災訓練などに取り組む姿勢が見えてこない。市議会では後手後手となる行政側の追求だけではなく、「先見性・多様性・専門性・実効性のある防災対策の提案」に向けての充分なる調査研究や行動が求められる。

熊谷敏晴さん

議員さんが今まで行った政策についての問題点などを細かいところまで質問していて、多賀城市を良くしようというのがとても伝わって来ました。多賀城市の欠点を適切に指摘し、これからの多賀城市のためにどうすべきであるかの意見を主張していて、徐々に多賀城市は良くなっていくんだなとわかりました。また、議会というものがよ

くわからなかったのですが、市役所の方々と議員さんが多賀城市のために話合う場というのがわかりました。

多賀城市のマスコミキャラクターである「タガもん」はもう少し魅力的でかわい気のあるようにした方がいいと思います。

村田貴昭さん

新図書館についての話題が多いように感じました。今の時点で業務委託であるとか、指定管理者制度については未定だが、私はCCCに業務委託に期待したい。個人情報のお話も出たが、武雄市のように選択式にすることで十分配慮は可能だと思う。それよりも全国で話題にすることで実際に多賀城市に来てもらい、観光し、知ってもらうことが大事だと思う。ただ、駅前再開発ビルができる頃には、多賀城に新しいインターネットエンジンもできるので、遠方からも電車ではなく車で来る人が増えると思えるので、駐車場に関する話題が気になった、武雄市では利用者が10倍に増えたという記事もあったと思うので、商業施設目的の人と、今まで通りの図書館利用を目的とする市民の両方が満足できるものを目指すことが求められると思う。

相澤秀春さん
(原文のまま掲載しております。)



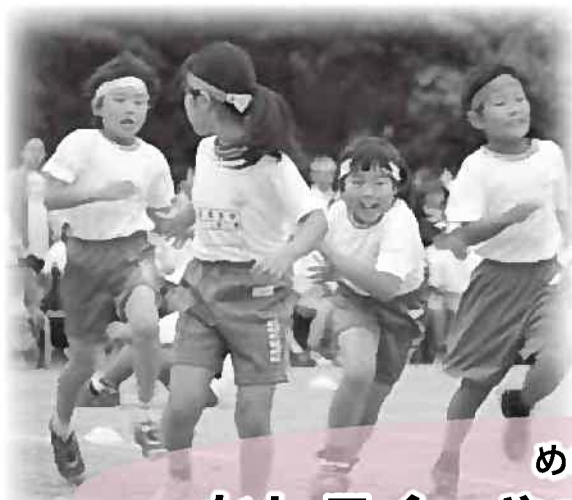
第84号「多賀城鹿踊」の記事の内容に対するご指摘について

市民の方から、平成25年8月1日発行第84号掲載の「多賀城鹿踊」の記事について、発祥の時期、場所について誤りがあるのではないかとのご指摘がありました。再度委員会で調査の結果、それを証明する確かな文献が残っていないことが明らかになりました。第84号では、確認できた資料に基づき、記事に掲載させていただきましたことをご了承下さい。

子どもたちのすてきな活動に フォーカス

創立140周年大運動会 **多賀城小学校**

多賀城市内6校の小学校の中で、秋季運動会の開催は多賀城小学校1校で、他の5校は春に開催されています。昔は春に学校の運動会、秋に小学校区単位での地区の運動会が行われていました。今回は多賀城小学校の創立140周年大運動会をフォーカスしました。



表紙の写真は5年生によるYOSAKOIソーラン節です。俊敏な150名の踊りは会場で見ている全ての人々を魅了していました。昼食後、午後一番のプログラムでしたが緊張することなく、躍動感がみなぎるパフォーマンスでした。

春の運動会は、1年生が入学して間もない5月の田植え時期になりますが、稲穂の収穫時となる10月には学校生活にも慣れてきた子供たちが半年間でたくましく成長している姿を見ることができた秋の運動会でした。

めざす児童像

かしこく・やさしく・たくましく

春の学校行事「すずかけ発表会」は、合唱・合奏など音楽を奏でる多賀城小学校の伝統を継承する学習発表会です。春のすずかけ・秋の運動会の開催は2年目になります。

(レポーター 伏谷)



編集後記

世界のみなさん「ありがとう」

2020年夏季五輪が東京で開催と決定されました。

あの一瞬、日本各地で喜びの声が鳴り響きました。

前回のオリンピック東京大会は、1964年第18回で「56年」ぶりです。

過去に1940年夏のオリンピック大会を東京に招致することに成功したようでしたが、日中戦争（支那事変）の激化もあり、自ら開催権を返上したいささつもありました。

七年後、世紀の祭典による日本の経済効果は約3兆円と推計されていますが、1万円新札で積み上げると3兆円の高さは30キロメートル、富士山「3767」メートルと約8倍相当になります。

東北地方に於いても、大震災から復興した被災地の姿を世界に発信するチャンスであり、被災地の子供達が夢と希望を持つための大きな贈りものでもあります。

議会だよりを発行して今回で85号目となります。より読みやすく親しまれるよう努めてまいります。

● 広報特別委員会

委員長 米澤 まき子
副委員長 伏谷 修一
委員 戸津川 晴美
委員 江口 正夫
委員 阿部 正幸
委員 雨森 修一

(雨森)



追跡レポート

問われた「太陽の家」のあり方に出した結論は…



開設当時の統合保育は珍しく、全国に先駆けた取り組みだったが、健常児の入園減少に直面、また近年は「気になる子」の存在が増加し、保護者の相談が増加傾向にあった。

「発達相談と療育相談を一体的にできる体制を」「法に基づく障がい児通園施設とする検討を」と、複数の議員から施設のあり方・療育体制について決算・予算質疑・一般質問でさまざまな意見・提言があった。

これまでのあゆみ

- 昭和50年1月 ノーマライゼーションの普及を目的に心身障がい児通園施設「太陽の家」を開設（障がい児15人、健常児15人）
- 平成6年 早期療育指導事業「おひさまひろば」開始
- 平成19年から障がい児と健常児の入園児童数が逆転しはじまる
- 平成24年11月 心身障がい児通園施設「太陽の家」を平成27年度から児童発達支援センターに移行を決定
- 平成25年度ニーズ調査等を実施、具体的内容を詰めていく

すべての「発達に心配事のある人」がわかり易く行きやすい療育の場の必要性と、早期に適切な療育の開始が重要で、つまずき部分を改善することで、中には一般就労して納税者になることもある。保護者からも望む声が多かった児童発達支援センターに向けて、これまでの経験と実績を活かした取り組みに期待する。

(レポーター 米澤)

現在の太陽の家

通園事業	太陽の家 対象：満3歳から小学校就学前までの児童 内容：健常児と障害児の統合保育による、機能訓練と生活指導	+	早期療育指導事業 おひさまひろば 対象：0歳から就学前の心身に障害を有し、又は心身の発達に遅れが見られる児童 内容：親子通園による療育及び専門相談
------	--	---	--

児童発達支援センターになると（案）

給付事業	通園（児童発達支援事業） 対象：0歳から就学前までの障害児 内容：日常生活における基本的な訓練、生活指導	+	市の単独事業 保育所等巡回相談 保育所、幼稚園に向いて、クラス担任等の専門相談を行います。 親子療育教室 対象：0歳から就学前の発達に不安がある児童 内容：親子通園を通して、保護者が児童の状態を客観的に把握し、適切な日常の関わり方が身につけられるように支援します。
	保育所等訪問支援事業 対象：保育所、幼稚園の集団生活する障害児 内容：集団生活に適應するため必要な専門的指導等		
	総合相談及び計画相談 18歳までの児童を対象に、成長発達などに関する相談に対応します。		